

円山小学校前横断歩道橋の取り扱いに関する

協議会(第1回)の結果について

1 開催日程

日時：令和元年12月2日(月)10:30～

場所：円山小学校 視聴覚室

2 参加団体一覧(出欠状況) ※詳細は「別紙1：協議会団体一覧(出欠状況)」参照

25団体(29名参加)の参加

3 協議会の内容

(1) 協議会の設立と会長・副会長の選任

「別紙2：円山小学校前横断歩道橋の取り扱いに関する連絡協議会設置要綱(案)」が協議会内で承認された。また、互選により下記委員を会長・副会長として選任した。

会長：円山町内会連合会 会長 三上 恒

副会長：円山小学校 校長 齊藤 隆浩

(2) 要望の趣旨説明

事前に提出された「円山小学校前横断歩道橋に関する要望書」について、説明があった。要望の趣旨は下記のとおり。

- ① 従前、当横断歩道橋は円山小学校の通学路として利用していたが、スクールゾーン実行委員会、また地域からの要望により、今年度より通学路から除外している。通学路から除外したことにより、横断歩道橋の利用者が大幅に減少していること。現在、児童は横断歩道橋の北側にある横断歩道(歩車分離式)を利用している。
- ② 昭和43年に設置され、既に50年以上が経過しているため老朽化している。
- ③ 地域の高齢化が進み、階段の上り下りが非常に困難。
- ④ 歩道橋が撤去された場合、周辺道路の見通しがよくなる。また、歩道の幅員も広がり、歩行空間確保につながる。

以上から円山小学校前横断歩道橋の撤去を要望する。

(3) 各委員からの補足説明

① 円山小学校前横断歩道橋の維持費等についての説明(中央区土木部維持管理課)

- ・ 維持管理費用について、冬場のロードヒーティング、清掃代、軽微な補修などで年間50万円前後の費用がかかる。
- ・ 歩道橋を存続させる場合、大規模な補修が必要となり、工事費用として300～500万程度かかる。
- ・ その他、10年おきに歩道面のゴムの張替えなどで100万～200万程度かかる。

② 通学路の変更による影響について（円山小学校より）

- ・ 今年度、円山小学校の通学路を横断歩道橋から横断歩道橋北側にある横断歩道に変更を行ったが、特段、大きな混乱や事故はなかった。
- ・ 4月、5月は変更直後だったため、誤って横断歩道橋を通る子どもたちもいましたが、7月、8月頃には解消し、現在は定着している。
- ・ 月曜日は本校の生徒が2時半から3時くらいまでに一斉に下校するということもありまして、横断歩道が混雑するという問題がありましたが、教職員が信号の待ち方、横断歩道橋の渡り方については指導を行っており、改善傾向にある。
- ・ 本校としても、横断歩道橋がなくても、子どもたちが安全に登下校している様子から撤去しても問題ないものと考えている。

③ 横断歩道橋での事故などについて（札幌方面西警察署から）

- ・ 過去3年間だけでみても、大きな事故はほとんど発生していない。
- ・ 平成29年にこの横断歩道にて重傷事故が1件発生しておりますが、特殊な案件※です。また、車対車の事故では交差点の数十メートル前で冬季間の追突が多い傾向にあります。
- ・ 当横断歩道については、人身事故は1件であり、かつ特殊な案件でしたので、歩車分離式が守られており、歩行者も守られているという認識です。

※ 北海道神宮例大祭のみこし渡御の際に、渡御が終わるまで、警察官が車・歩行者の横断を禁止していたが、1名が待ちきれずに渡ってしまい、バスと接触したという案件。

4 協議会での決定事項

(1) 要望書の妥当性

地域から提出された要望書は妥当性があり、協議会としては「撤去」を念頭におき、今後の議論を進めていく。

(2) 今後の流れ

① 市民意見公募

横断歩道橋の撤去に関して、市民に広く意見を求めるため、横断歩道橋へ意見公募の看板を設置すること。また電話・ファックス・ホームページからの問い合わせへ対応していく。

また、委員より「広報さっぽろ」への掲載について意見があったため、事務局で検討を行う。

② 次回協議会開催

令和2年6月開催予定。意見公募の結果などを踏まえて、横断歩道橋の撤去・存続について協議を行う。

※重複意見については省略しております。